

# 豊郷町隣保館だより

2021年7月21日発行 豊郷町隣保館 ☎0749-35-0611 No.208



「りんぼかんって  
どなたどこ？」  
みんなで考えて  
もらいました🌸

大きな太鼓の大  
きな音にびっくり  
しました!(^\_^)!

**豊郷小学校3年生、38名が  
隣保館から三ツ池のお旅所へ！  
大きな太鼓も見せてもらいました！**

先月の日栄小学校に続き、豊郷小学校3年生のみなさんも、『総合的な学習の時間』として、隣保館から三ツ池のお旅所、そして児童館を訪れてくれました。

『総合的な学習の時間』には、『地域の人々の暮らし、伝統と文化など地域や学校の特色に応じた課題についての学習活動などを行うこと』が活動内容の一つとして入っています。

私たちの暮らす豊郷町は、小さなまちですが、数多くの歴史的価値のある場所や誇りうる人たちの息づかいが感じられる、まち全体が歴史と文化にあふれた心と心豊かなふる郷です。

歴史や文化人、商業の礎を築いた先人など、誇りうる財産があることで、「ここ豊郷町には、昔から自慢できるものがたくさんあって、その一つひとつに多くの人たちの頑張りがあったからこそ、今ここにみんながいるんだよ。」そんな想いを子どもたちに伝えるための学習活動はとても大切だと思います。

そして、そのなかには、差別の現実に向き合い、人としての尊厳を大切にしながら、ちからを合わせて反差別の道のりを歩んできた人たちの存在があったということも伝える意義があると感じています。

今回、三ツ池区の浅居区長にお旅所の太鼓部屋を開放していただきました。大きな太鼓を見た子どもたちから「すごい大きい！」と歓声が上がるなか、「すごいやろ。これがボクらの太鼓なんやでー」と嬉しそうに友だちに話をしている笑顔がとても誇らしげでした。その笑顔を見ながら伝えることの大切さを改めて感じました。